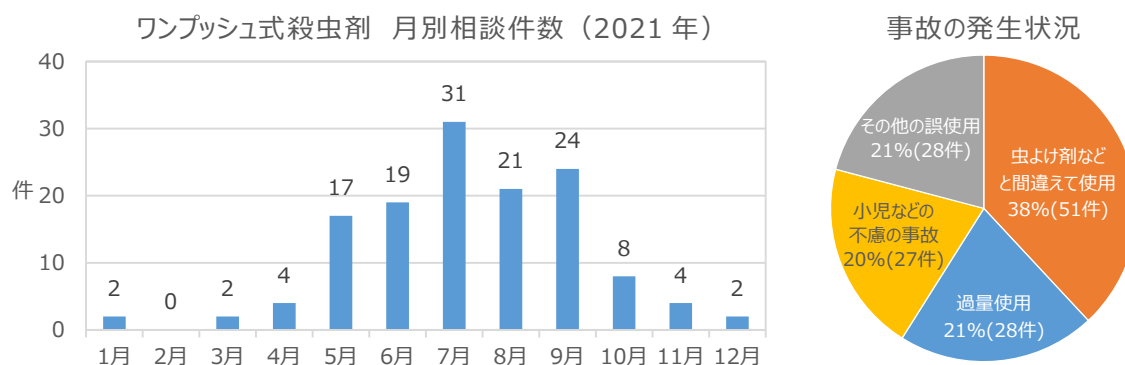


ワンプッシュ式殺虫剤を肌にスプレーする事故に注意しましょう！

ワンプッシュ式殺虫剤とは、1回プッシュすると一定量の薬剤が噴射され、有効成分が空間に広がって効果が長時間持続する、小型のスプレー製品です。気温が高くなり虫が増える季節になると、日本中毒情報センター・中毒110番にはワンプッシュ式殺虫剤に関する問い合わせが多く寄せられます。2021年は134件のうち、5～9月の問い合わせが約8割を占めていました。



ワンプッシュ式殺虫剤の事故の特徴は、肌にスプレーする虫よけ剤と間違えて使用する事故が多いことです。以下のような問い合わせがあります。

「使用方法を確認せず、肌に使える虫よけ剤と思い込んで腕や脚にスプレーした。」

「虫よけ剤と同じところに保管していたワンプッシュ式殺虫剤を取り違えて肌にスプレーした。」

殺虫剤が皮膚に付着すると、30分～数時間ほどで薬剤が付着した部分のピリピリ感などの感覚異常が出現します。症状が出現して初めて、間違えて使ったことに気付くこともあります。感覚異常は、通常24時間程度で改善します。

● 虫よけ剤、ワンプッシュ式殺虫剤を使用する場合は、事故防止のために以下の点に注意しましょう。

- ・ 購入時、また使用前に、使用方法や注意書きをよく確認しましょう。
- ・ 虫よけ剤を肌にスプレーする前に、もう一度製品を確かめましょう。
- ・ 虫よけ剤とワンプッシュ式殺虫剤は離れた場所に保管しましょう。
- ・ 子どもの手の届かないところに保管しましょう。

事故が発生し、受診すべきか判断に迷った場合は中毒 110 番にご相談ください。

公益財団法人日本中毒情報センター 中毒 110 番電話サービス (一般向け)

- 大阪中毒 110 番 (365日 24時間対応) 072-727-2499
- つくば中毒 110 番 (365日 9時～21時対応) 029-852-9999

本資料を引用又は使用して資料作成・報道等を企図される場合は、必ず事前にその内容について日本中毒情報センター (本部事務局 電話 : 029-856-3566) の承諾を得、「公益財団法人 日本中毒情報センターの調査による」旨明記して下さい。